

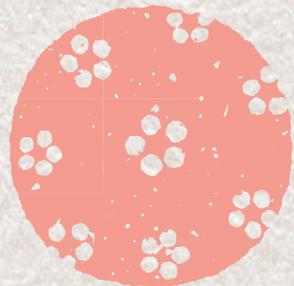
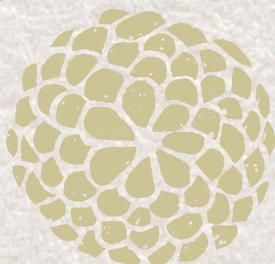
佐渡島伝統芸能BOOK

ふりゅう

風流と唄編



「風流」は、日本の芸能に大きな影響を与えた美意識であり、その精神を取り入れた芸能には華やかさと共に意表を突く趣向が求められました。「風流」に影響を受けたと見られる佐渡の芸能と、民衆に伝わる唄と踊を紹介していきます。



佐渡に伝わる風流踊



風流踊の構成要素

風流踊とは、花傘と仮装の者が太鼓・^{かね}鉦などで
囃しながら動き回る^{はやし なかおどり}囃子物(中踊)を内に置きそ
の周りを着飾った衣装の踊手が取り巻き(^{がわおどり}側踊)、
さらに棒を持った警固の者が外にいる芸能です。
この風流踊の中踊の系統が佐渡でも演じられる
「三匹獅子踊」で、側踊が盆踊の基となったもので
す。三匹獅子踊は風流獅子踊とも呼ばれます。

風流踊が最も色濃く残る芸能

北田野浦の花笠踊

相川地区北田野浦の「花笠踊」は風流踊
の形式を色濃く残した芸能です。4月14日の
宵宮に北田野浦集落センター、御礼智神社、
踊の庭、^{にわ}西芳寺の4か所で演じられます。



ぼうぶ
「棒振り」が風流踊の警固の役にあたります。棒振りに続いて行われる芸打ちの太鼓が花笠踊の庭をつくれます。 ※庭…芸能が演じられる場



中踊にあたるのが三匹獅子踊です。北田野浦では「獅子」と呼ばれています。



かさほこ
側の傘鉾が風流踊で、もともとは中心にあった花傘であると考えられます。



「花笠」が側踊にあたります。

佐渡芸能アーカイブ

北田野浦の花笠踊
の動画が見られます



<https://www.youtube.com/watch?v=BPx3zOalohk>